

# 深海タチウオ釣り漁法（研修報告）

1. 観察研修先 与論町漁業協同組合

2. 参加者 石川市漁協具志川支所青年部 佐久本 重夫

沖縄県水産業改良普及所普及員 長嶺 嶽

3. 日程 平成4年10月12日～13日

4. 観察研修の内容

(1) 与論町漁協の概要

与論島は沖縄本島国頭村辺土岬から北へ28kmに位置した、周囲22kmの島で、観光地として有名。

島の人口は約6,700人、漁協の組合員は正94名、准243名、合計337名。主な漁業種類は、

瀬物一本釣り・潜水器漁業・トビロープ曳漁業で年間の水揚高は、約150万円である。表1参照。

(2) タチウオ釣り漁法の開発の経緯

与論町漁協で最初に深海タチウオ釣り漁法を開発した漁業者は竹波清志さんで、瀬物一本釣り操業時にキンメやホタ（シチュウマチ）に混じってタチウオがつれることがあったので、試験的にタチウオ針に黄色のテープを巻いて曳縄釣りを試みたが浮きの調整がむずかしくあまり釣れなかった。

平成4年2月から、従来の曳縄漁法から一本釣りの要領で建縄に改良してみたところ、難しい調整もなく漁獲が向上し、一日100kgも釣ることができ、価格も鹿児島県漁連のセリで平均1,000円をこえたことから、操業隻数も増えて6月には28隻が操業するようになった。

(平成4年4月～9月までの漁獲状況は表-3参照)

(3) 漁具・漁法

幹縄は、コーティングワイヤー36番で、水深にあわせて350mから400mの長さにする。

幹縄の先端には、1.5kgのオモリをつける。鉄筋でもよい。

オモリの2m上から1.5m間隔で枝縄を10本つける。枝縄の長さは80cmでナイロン30号が60cm、

ハリスは曳縄釣針（環付17～18号）にくいちぎり防止のためステンナマシ線20cmで連結する。

タチ針より餌付けがしやすく、喰付きも曳縄針の方が良いようです。

漁場の水深が深いためアカマチ釣りの応用で一番上の枝縄から3m位の所に水中灯をつけています。

備考

#### (4) 漁具の収納方法

幹縄は、自動釣り機のドラムに1漁具ずつあらかじめ巻いておき、漁場に到着してから操業開始前に枝縄部分と連結します。与論では1隻あたり平均3漁具使用しています。

枝縄は、ソディカの漁具収納と同じように、延縄漁業用タルに収納しています。

#### (5) 餌

エサは冷凍サンマを2枚おろしにして、それを1/3にぎって切身を使っている。

餌はムロでもかまいませんが、与論では、値段の安いサジマを使用しているとのことで1日の操業で70尾入りの物を1箱使うとのことでした。

#### (6) 漁場

島内の漁獲統計

漁場は350m～400mの深海で低質は砂地が良いとのこと。冬場はもっと浅場に移動することでした。操業場所は与論から国頭村の安田沖が中心とのこと。

操業時間は、早朝から夕方まで、漁場に到着したら魚群探知機で魚群をさがす。カラー魚探では海底の近くに比較的間隔があいて青い点で現れるようである。

操業の方法は、船上から漁具をたらして、手あたりをとります。オモリが底に着いた時にはすぐにくいくよう底についたらすぐ巻き上げる作業を行い1日何十回も繰り返し操業する。多い時で、1回に7尾(1漁具)かかることがあるが平均2～3尾が普通、釣り数が少なくとも共食い防止のために巻き上げたほうがよいとのことでした。

傷付いたタチウオは2/1～3/1以下の値段で出荷しても引合わないようである。

漁船の規模は、1.5t～4tクラスではほとんどが1人乗りである。

(8) 出荷方法及び価格

タチウオの表皮はグニアンと言う物質で覆われ、以前はこのグニアンで銀箔を作ったり、模造真珠の光沢を出すために使われたようである。

このグニアンがはげているものは古く、多く残っているものほど新鮮で、体が硬いものが鮮度はよい評価をうけるとのこと。

(9) 鮮度保持

船上に釣り上げたタチウオは暴れ防止のため、デッキの上にスポンジマット(マグロと同じ)を敷いて、その上にビニールシートをかけて寝かせて釣り針をはずす。

タチウオを魚槽に入れるときはパンチで穴を開けたビニール袋に10尾程度入れて水氷を満たした後、そのまま魚槽にいれて帰港する。

#### (10) 出荷

出荷は、ソディカを送るハッポウスチロールの魚箱に腹側を上にして魚体を立てていれる。

さらに、頭を揃えて尻尾が長い物は丸く曲げて入れる。大きいタチウオは5~6尾、小さい物は2段にして10~15尾いれる。その上にビニールをかぶせ氷を2kg程入れ、蓋は開けたまま、コンテナに詰めてフェリーで出荷しているとのことである。

与論ではほとんど需要がないため100kg鹿児島県漁連に船便で出荷している。

#### (11) 価 格

与論から鹿児島へ出荷を始めたのは平成4年4月から9月まで月別平均価格は、910円から1,330円。別表-3を参考

1kg未満の小型魚は1,000円~1,300円、1kg~2kgは800円~2,000円までと幅が大きいが、小型魚に比べて大きいサイズは単価が高いようである。

傷ものは、300円~800円しかしないし、鹿児島湾内での水揚げ量が多い時期は価格は安くなる傾向があるとのことで、市場分散を考える必要がある。

☆今回は台風19号の影響で乗船研修は出来なかったが、深海タチウオ釣り漁法を開発した竹波

清志さんをはじめ、漁協の酒匂組合長外理事の皆さんとの交流会がもてたことで大変有意義な

研修ができました。お礼申し上げます。

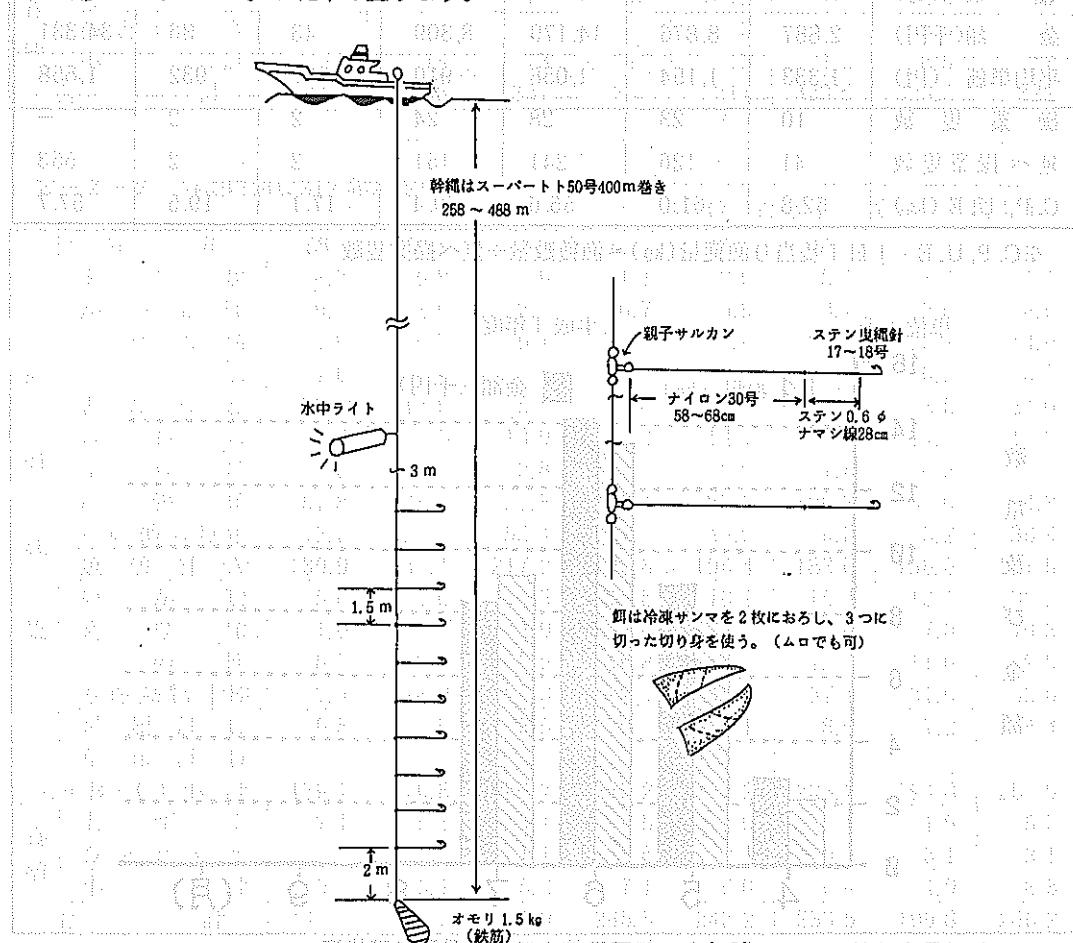


図-4 与論タチウオ釣り漁具概略図

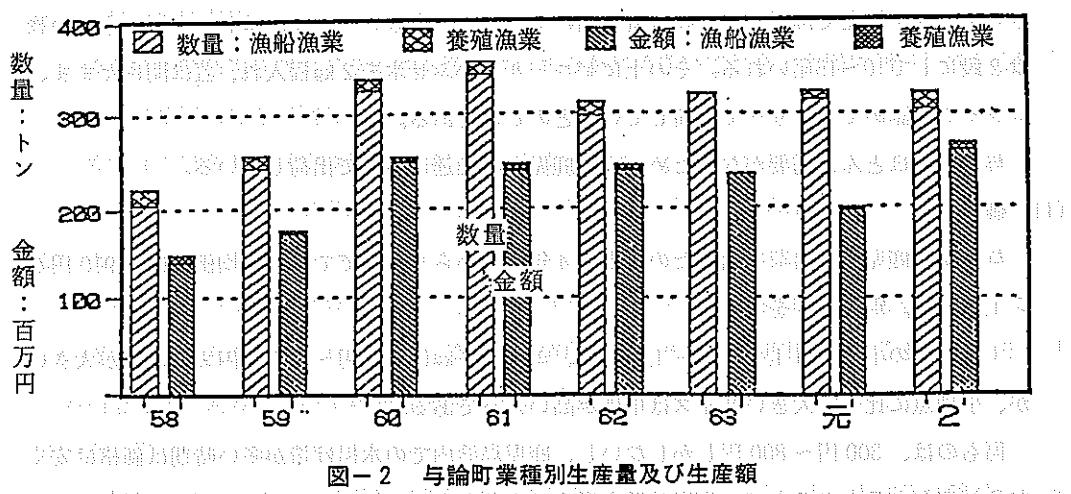


表-3 平成4年度 与論町漁協タチウオ漁獲状況

項目 / 月	3 4 年 度	5 6 7 8 9 度	合計
数 量 (kg)	2,166	7,692	13,401
金 額(千円)	2,887	8,876	14,179
平均単価 (円)	1,333	1,154	1,058
操 業 隻 数	10	23	28
延べ操業隻数	41	126	241
C.P.U.E (kg)	52.8	61.0	55.6

※C.P.U.E = 1日1隻当たり漁獲量(kg) = 漁獲数量 ÷ 延べ操業隻数

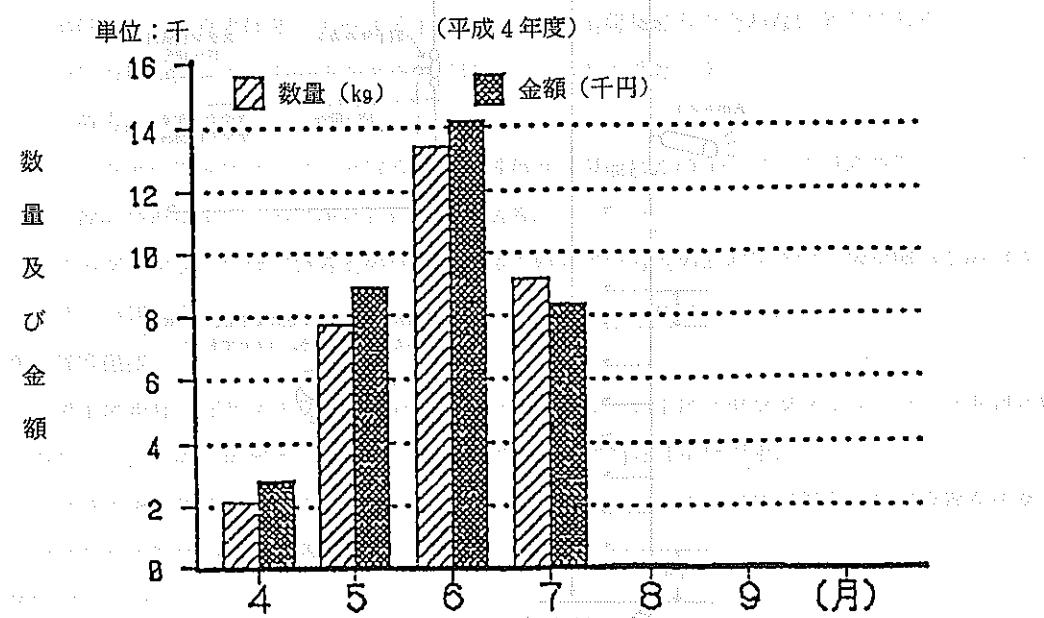


表-2-1 与論町魚種別・年別生産量  
(単位:トン 資料:大島支庁)

区分 / 年	58	59	60	61	62	63	元	2
漁船業	あじ類	15	12	11	1	4	6.3	3.4
	かつお類	2	6	6	3	2	11.4	7.5
	まぐろ類	2	10	16	7	19	33.5	30.0
	さめ類	4	2		3	2	1.3	0.9
	とびうお	93	52	15	58	50	54.3	55.1
	さわら	15	12	13	14	14	17.7	15.7
漁業	ぶり類	3	2	3	1	1	1.1	1.7
	瀬物類	45	75	116	193	75	122.3	148.8
	その他の魚類	17	51	112	19	90	25.0	7.7
	魚類計(A)	196	221	293	298	256	272.9	270.3
	いか類	6	11	23	24	28	31.3	29.2
	えび類	0	1	1	2	1	2.3	1.7
水産業	その他	1	3	3	12	7	6.9	7.4
	水産動物計(B)	7	15	28	38	35	40.5	38.3
	貝類計(C)	1	6	4	7	4	6.8	6.4
	草類計(D)							
	(A+B+C)小計	204	242	324	343	296	319.4	315.0
	もずく	18	14	11	18	12	6.0	15
養殖	ひとえぐさ			2	5	3	1.2	2.5
	小計	18	14	13	15	15	1.2	8.5
	合計	222	256	337	358	311	320.6	323.5
								322

表-2-2 与論町魚種別・年別生産額

(会員漁業生産額) 千萬円  
(単位:百万円 資料:大島支庁)

区分 / 年	58	59	60	61	62	63	元	2
漁船業	あじ類	8.7	6.8	5.9	1.1	2.6	5.1	1.4
	かつお類	0.9	3.6	2.9	0.7	0.9	3.7	2.6
	まぐろ類	1.9	6.7	9.1	7.7	11.4	24.4	20.7
	さめ類	1.0	0.4		0.7	0.2	0.4	0.2
	とびうお	32.2	17.5	5.1	17.6	19.1	26.8	18.5
	さわら	12.6	9.5	13.9	16.3	14.1	16.7	14.9
漁業	ぶり類	3.6	2.4	3.8	0.9	1.4	0.5	
	瀬物類	57.8	78.8	121.8	141.4	87.2	100.2	94.0
	その他の魚類	12.2	22.2	55.4	14.2	49.9	9.3	3.2
	魚類計(A)	130.9	148.1	217.9	199.8	196.4	188.0	156.0
	いか類	5.8	10.0	11.5	18.8	18.1	15.4	13.1
	えび類	1.0	5.4	2.9	4.8	3.9	9.6	7.0
水産業	その他	0.7	2.8	10.9	16.8	25.8	12.1	11.6
	水産動物計(B)	7.4	18.2	25.3	92.4	47.7	37.1	31.6
	貝類計(C)	0.8	4.5	3.5	6.1	3.1	8.0	7.2
	草類計(D)							
	(A+B+C)小計	139.1	170.8	246.7	238.2	237.2	233.2	194.8
	もずく	7.1	5.1	4.1	3.5	3.9	1.9	5.3
養殖	ひとえぐさ			1.1	3.6	2.1	0.4	3.1
	小計	9.1	5.1	5.2	7.1	6.0	0.4	4.9
	合計	148.1	175.9	251.9	245.3	243.2	233.5	199.8
								266.2